

7 番（小川義昭君）

私がただしたかったのはそういうことで、この白山ろく、それから鶴来・美川・松任、本当に素晴らしいものがいっぱいあるのです。そういったものの一体感を連携して、さらにそういったよさ、この4つの地域をあわせ持って、白山市というのは本当にこれからも素晴らしい市になると思っています。どうかそういった意味を踏まえて、4つの地域のよさを生かし切るようなこれからのビジョンづくり、こういったことが必要かと。それがまさに市民が望んでいることかなと思っていますので、よろしく願いいたします。

作野市長御自身は、合併の協議が行われていた当時、松任市選出の県議会議員という立場にございました。よって、合併協議会には直接深く関与されてはおられなかったと拝察いたしますが、県議会議員としての県内全体の自治体合併を俯瞰しつつ、複数の自治体による合併の見通し、合併後の展望などについて、どのような見解を抱き、合併に至る実情を把握されていたのかをお尋ねいたします。

その上で、合併10年目を迎える白山市の行政を束ねる市長という重責を担われている今、松任・鶴来・美川・白山ろく地域の住民の皆さんの合併に対する声をどのように把握されているのかをあわせてお伺いいたします。よろしく願いいたします。